

152.OK-432注入療法を施行したガン腫症例の検討

研究の概要

当科でガン腫に対しOK-432注入療法を行った症例における実施内容、治療効果等を後ろ向きに調査します

研究の目的と方法

OK-432は1975年に癌の免疫療法剤として認可された薬剤です。そして強力な炎症作用を引き起こすことから、癌性胸膜炎や癌性腹膜炎患者の胸腔内や腹腔内に投与すると腔内の癒着を促すことで胸水や腹水を減少させることがわかりました。1995年にOK-432は「リンパ管腫治療剤」として保険適用を取得し、2011年はガン腫に対し保険適応が認められ、摘出や開窓療法に代わる治療として注目されています。今後ガン腫に対し質の高い医療を提供していくためにこの研究ではこれまで本治療を受けられた患者さんの経過について詳しい検討を行うことといたしました。すでに本治療を受けられました患者さんの情報をカルテから収集しますので、新たに検査を行ったり、お話しを伺うことはございません

本研究の参加について

本研究を行うにあたり、新たな検査や費用がかかることはございません。この調査にご参加頂くことで、今後の治療の質の向上につながる可能性がありますので、是非ともご協力いただければ幸いです。ご自身の情報を使用されることに対しご質問等がございましたら下記の問い合わせ先にご連絡ください

調査する内容

当科でOK-432注入療法を行った症例について性別、年齢、部位、注入回数、投与量、治療効果、副作用等を調査します。個人を特定し得る情報は用いません

調査期間

調査対象期間：2014年10月1日～2021年9月30日

調査及び解析期間：研究許可日～2023年3月31日まで

研究成果の発表

調査した患者さんのデータは、集団として解析し、学会で発表いたします

研究代表者

国立病院機構熊本医療センター 歯科口腔科 前田 顕誠（まえだ けんせい）

当院における研究責任者

国立病院機構熊本医療センター 歯科口腔科 前田 顕誠（まえだ けんせい）

問い合わせ先

本研究に関するご質問等がございましたら下記の連絡先までお問い合わせください。また、情報がこの研究に用いられることにつきまして患者さん、もしくは患者さんの代理の方にご了承いただけない場合は研究の対象にはいたしませんので下記の連絡先までお申しください。その際も患者さんに不利益が生じることはございません。

国立病院機構熊本医療センター 歯科口腔科 前田 顕誠（まえだ けんせい）
TEL: 096-353-6501（代表）